

(仮称) 稲城市姉妹都市・友好都市交流協会のたたき台 (骨子)

1. 目的

(仮称) 交流協会は、市民が主体となり、稲城市の姉妹都市及び友好都市と相互交流を推進することで、多文化共生による心豊かな市民生活の向上と地域の活性化に寄与することを目的とする。

2. (仮) 交流協会の役割

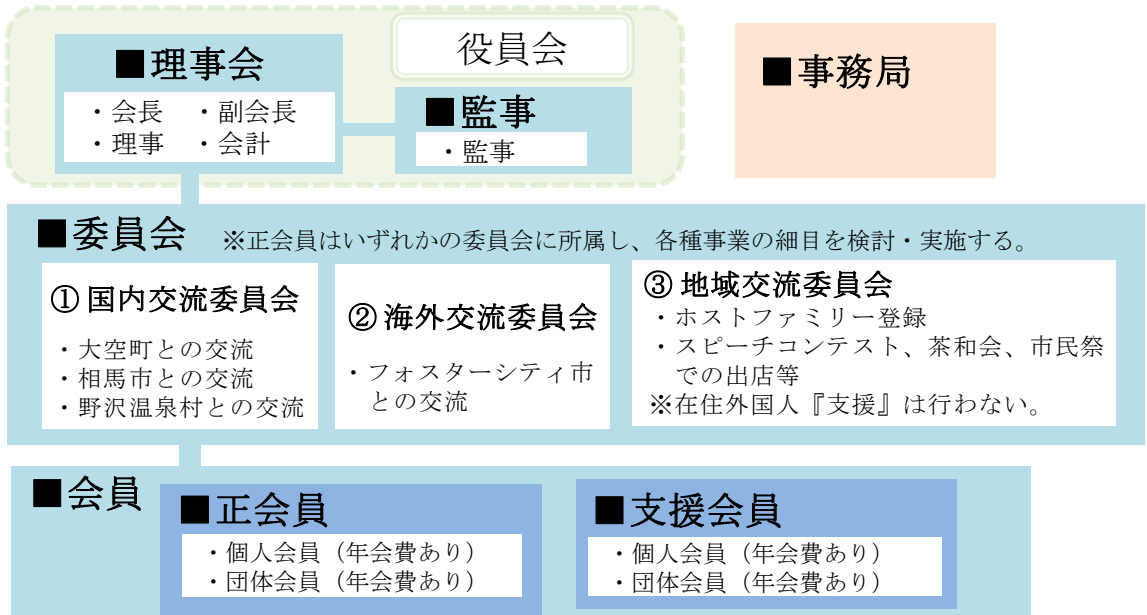
姉妹都市や友好都市は、それぞれ独自の自然、地域性、文化等を持っています。これら都市との交流は、それぞれの地域特性を活かした様々な体験ができるばかりでなく、新たな人と人とのつながりを育み、自らの成長を促し、人生を豊かにすることができます。特に子どもの世代が交流を経験することは、国際社会の中でたくましく生きていける人材を育成するためにも非常に有意義なものとなります。さらに、自らの住むまちの魅力を再発見するきっかけにもなり、地域の魅力の向上へも繋げることができます。

このような交流事業を推進するために、他の地域（海外を含む）との交流の経験を持った市民や、交流に興味のある市民の方が集まった(仮)交流協会を作り、皆が持っている交流に関する知見・熱意をもって、交流を実施したいと考える市民へのアドバイスや情報提供・コーディネート、各都市との連絡・調整、交流事業の企画・運営することを(仮)交流協会の役割とします。

3. 組織の名称

※ 資料5『アンケート結果』の組織名称一覧より選定

4. 組織・事業



※組織は「任意団体」とする。

5. 運営

役員を中心に協会を運営する。各委員会及び役員は情報共有しながら活動を行う。